

地元の林野を見つめなおすことはできるだろうか？  
— 岩手県内の事例調査をもとに“共同”をテーマとして —

佐々木 一也  
(岩手大学農学部)

1 陸前高田市有林旧矢作町財産区

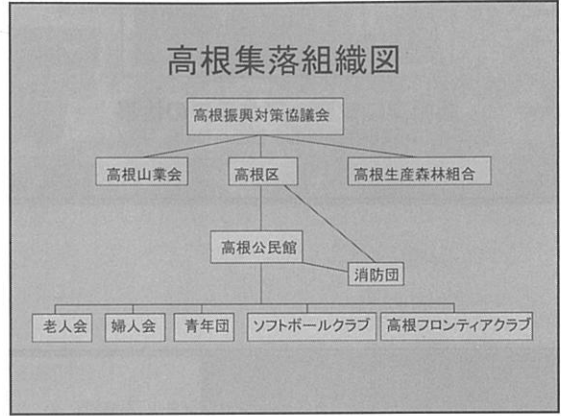
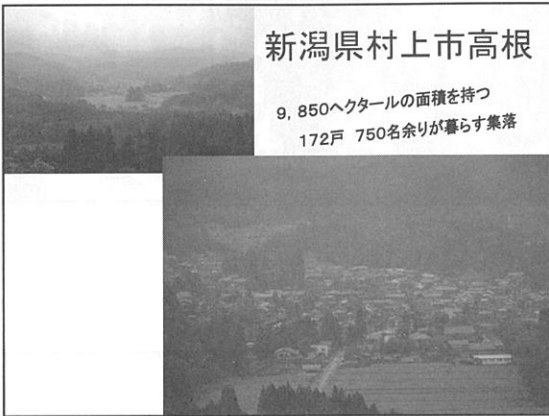
- 陸前高田市の概要
- 陸前高田市の財産区有林
- 矢作町の概要
- 旧矢作町財産区有林について
  - ・ 旧村における林産物生産額の構成比
  - ・ 旧村有林の利用形態
  - ・ 分収林契約状況
  - ・ 財政事情の変化
  - ・ 昭和60年度の利用状況
  - ・ 農家聞き取り調査(S61)結果から
- 市有林への移管および移管後の状況
  - ・ 施業実績
  - ・ 樹木払下げ実績
  - ・ 新たな取組(立教大学課外教育プログラム(林業体験)の受入実施)

2 旧大東町の共有林

- 旧大東町および旧鳥海村地区の概要
- かつての共有林の概要(大東町総合調査報告(S47)をもとに)
- 市町村合併に伴う動き
- アンケート調査結果について(旧鳥海村地区全戸に対するアンケート調査結果)
  - ・ 所有森林の手入れ状況
  - ・ 組合員のメリット及び総会への参加状況
  - ・ 地域の森林に対する関心度等
  - ・ 地域の森林の今度の支え手
  - ・ 地域の森林に期待する機能
  - ・ 後継者
  - ・ 定住意思及び集落行事への参加状況

3 まとめ —地域の資源を活かす—

村上市高根集落の取り組みについて 鈴木信之  
(高根フロンティアクラブ)



**高根生産森林組合**

- 集落全戸加入
- 役員7名(任期3年)
- 3,926ヘクタールの所有地を有する。天然林3,125ヘクタール
- 雇用は事務員2名
- 夏期労働者50代4名 60代1名 70代4名
- 事業収入H19年度6,400万円
- 主な収入は各種造林収入

**高根山業会**

- 112名の記名共有の入会
- 役員5名(任期2年)
- 1,200ヘクタールの所有地を有する
- 雇用は夏期労働者2名
- 事業収入はH19年度1,400万円
- 主な収入は村行造林と土地貸付料(農地も所有)



高根フロンティアクラブの仕事  
(高根集落のまちづくり)



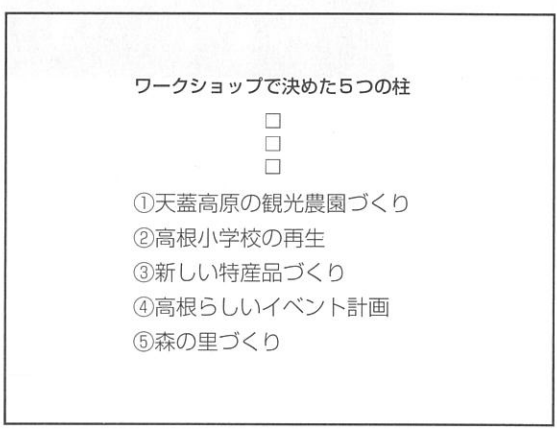
集落の宝物探し  
(200名以上の参加者あり)

2000.5



集落の未来デザイン・ワークショップ

2000.2



ワークショップで決めた5つの柱

- 
- 
- 
- ①天蓋高原の観光農園づくり
- ②高根小学校の再生
- ③新しい特産品づくり
- ④高根らしいイベント計画
- ⑤森の里づくり



天蓋高原の土地利用  
(5万本のひまわり畑)

(観光農園計画)

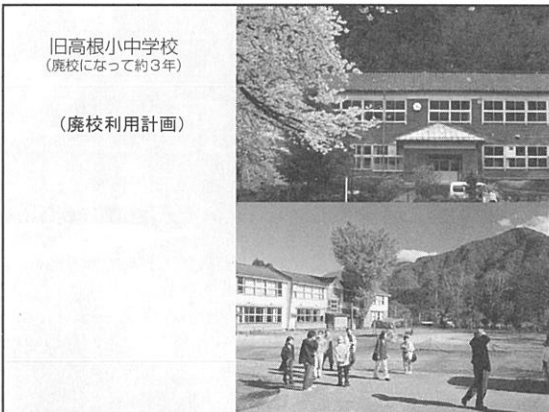




各種体験メニューの開発



集落の手仕事体験

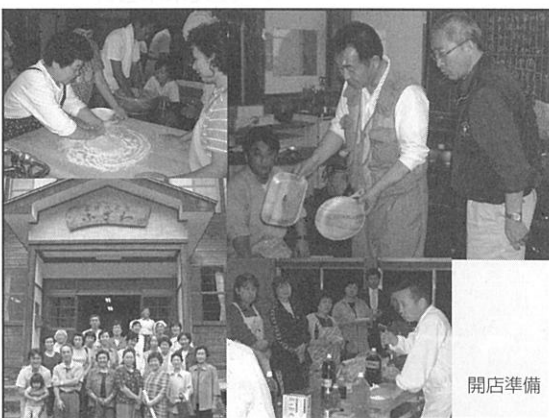


旧高根小中学校  
(廃校になって約3年)

(廃校利用計画)



改装中



開店準備



めでたく開店

